

LGBTQ+差別と児童虐待に

隠されたもの



昭和から差別と虐待の両方を経験し、学んできた私。このふたつの問題の変遷を見ていると、あるひとつのテーマが浮かび上がってきます。解消すべき根本的なテーマとは何か、いっしょに考えていきましょう。

講師 歌川 たいじ

1966年、東京都生まれ。小説家・漫画家。1日10万アクセスを記録したブログ「ゲイです、ほぼ夫婦です」で人気を博し、2010年『じりラブ』でデビュー。2013年に伝説的コミックエッセイ『母さんがどんなに僕を嫌いでも』を刊行し、本作は2018年映画化。他の著書に『母の形見は借金地獄』『「おつきあい」の壁を乗り越え48キロやせました』など。2015年、『やせる石鹸』で小説家デビュー。NHK「ハートネットTV」に出演するなど、多方面で活躍。老若男女、セクシュアリティを問わず多くの熱烈なファンをもつ。最新作は小説『バケモンの涙』



企画：定禅寺 かるま（国立市 LGBT アドバイザー）

国立市在住。国立市のセクシュアル・マイノリティ施策に関わる。

「国立市多様な性を尊重するまちづくりのための職場におけるガイドライン」監修

12月11日(日)

PM 2:00~4:00 (開場 1:30)

会場：くにたち市民芸術小ホール

定員 200名 (申込先着順) 手話通訳付

申込 (12月9日17時まで)：国立市 市長室 平和・人権・ダイバーシティ推進係

TEL 042-576-2111 mail sec_diversity@city.kunitachi.lg.jp

